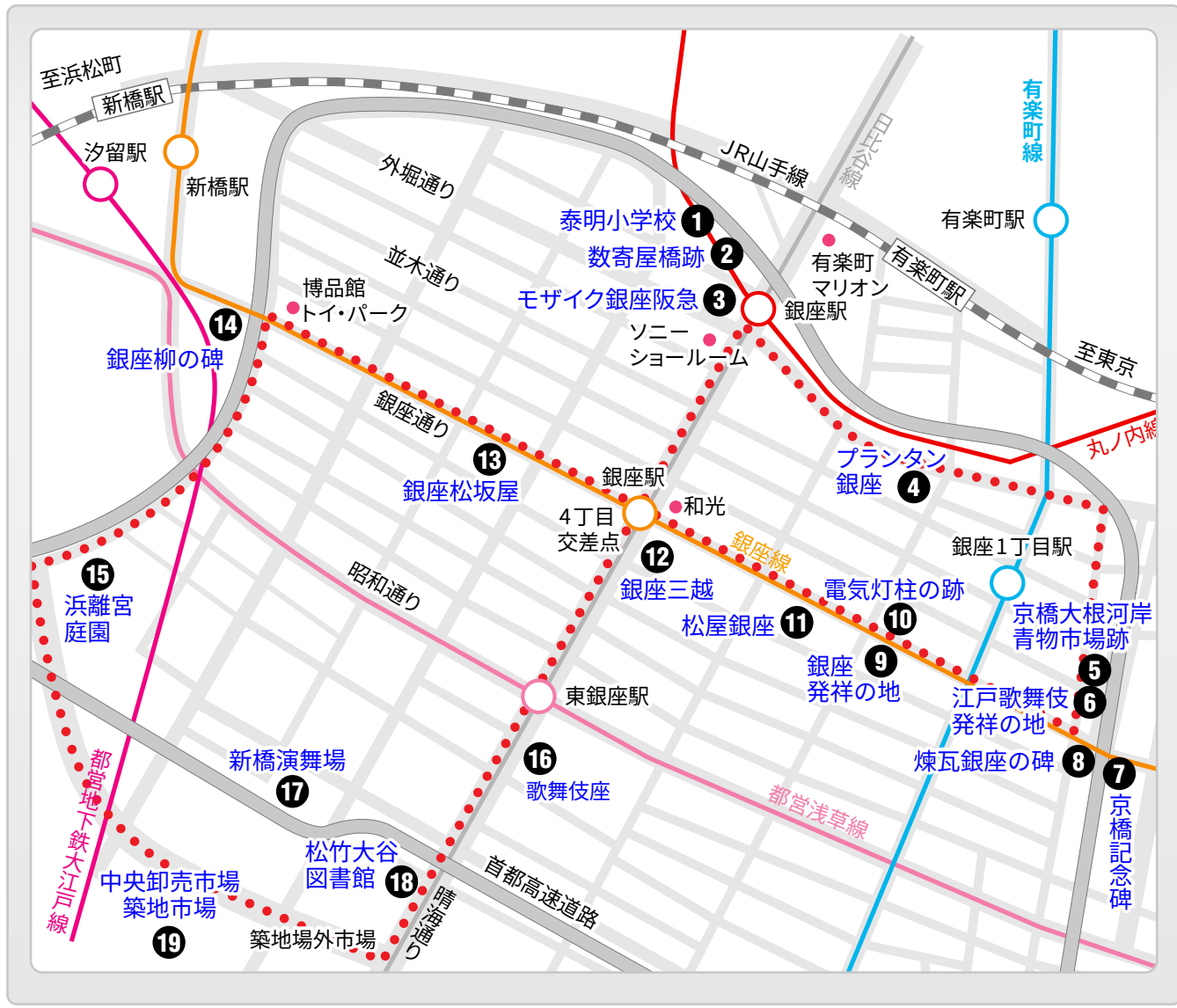
ファッショナブル・タウン銀座。文化開化のモダンさは、今も変わりません。



❶ 泰明小学校

明治11年6月開校と、歴史は古い。文豪島崎藤村、日本近代浪漫主義の開拓者北村透谷など、数多くの逸材を生み出している。同校入口には「島崎藤村、北村透谷、幼き日ここに学ぶ」という石碑がある。

銀座5-1-13

❷ 数寄屋橋跡

寛永6年（1629）、江戸城外敦見附として架けられた。有楽町側には有名な南町奉公所があった。銀座の入口として親しまれ、菊田一夫の「君の名は」で一躍有名に。現在、橋はなく、碑のみが残っている。

銀座5-1-1 数寄屋橋公園

❸ モザイク銀座阪急

昭和31年、専門店集中の新しい百貨店として開店。一流ブランドも多く、若い女性に人気。

銀座5-2-1

❹ プランタン銀座

昭和59年4月、フランスの百貨店と提携して登場。ブティックの多いファッションタワーとして話題を集めている。

銀座3-2-1

❺ 江戸歌舞伎発祥の地

東都の劇団では、伝統と人気を誇った中村座は、寛永元年（1624）この地にやぐらをあげた。当時、このあたりには人形繰り座、浄瑠璃座などの小屋がひしめいていたという。のちに、お城に近いとの理由で移転させられた。

京橋3-4先

❻ 京橋大根河岸青物市場跡

江戸時代、京橋川河岸は野菜の荷揚場で、八百八町の住民たちに新鮮な野菜を提供していた。この別名「大根河岸」は、関東大震災まで続いていたが、震災後は、神田や築地に移転した。

京橋3-4先

❼ 京橋記念碑

京橋は、日本橋と同時代の慶長年間に架橋された。江戸中期には、ここの擬宝珠になわを結んで願うと咳どめにきくといわれた。橋は昭和34年に撤去されたが、擬宝珠欄干の親柱が記念碑として残されている。

京橋3-5先

❽ 煉瓦銀座の碑

明治5年（1872）、和田倉門から出火した火事は、銀座一帯から築地にまで及ぶ大火となった。時の府知事由利公正は、不燃性の街づくりを強く主張。銀座通りに面してレンガ造りの二階建アーケード式建築がならんだ。

銀座1-11-2

❾ 銀座発祥の地

江戸の銀座は幕府の銀貨を扱う役所の所在地を指していた。金貨の金座は日本橋本石町、今の日本銀行におかれた。慶長17年（1612）、駿河の銀座が江戸に移された。これにちなみ、銀座を町名としたのである。

銀座2-7先

❿ 電気灯柱記念碑

明治15年（1882）、ここに宣伝用として2,000燭光のアーク灯が点火され、当時、ガス灯やランプの明るさしか知らなかった人々を驚かせた。わざわざこれを見るために、毎夜、多くの人が集まったといわれている。

銀座2-6-12

⓫ 松屋銀座

横浜の鶴屋呉服店がその前身。震災後の大正14年に銀座へ。昭和のギンザと共に歩み、今日に至っている。

銀座3-6-1

⓬ 銀座三越

出店は昭和5年。世界のファッション交差点、銀座四丁目から新鮮な情報を発信している。

銀座4-6-16

⓭ 銀座松坂屋

大正13年に出店。地上6階建ては震災後の街に活気を与えた。信楽焼1万枚を使った外観は有名。

銀座6-10-1

⓮ 銀座柳の碑

銀座煉瓦街ができたころ、街路樹として松、桜などが植えられた。ところがすぐに枯れてしまう･･･。そこで柳を植えたところ、地味に適し、柳の緑が一面をおおうようになった。「銀座の柳」の歌詞と譜面の刻まれた碑である。

銀座8-9先

⓯ 浜離宮庭園

もと将軍家の鷹狩り場であったが、明治3年（1870）、宮内省の初管となって皇室宴遊の地にあてられた。潮入池を主体とした回遊式臨海庭園で、典型的な大名庭園の面影を今に伝えている。国の特別名勝、特別史跡。

浜離宮庭園1-1

⓰ 歌舞伎座

明治22年に開場。当時は、時代の先端を行く木造洋式のハイカラな建物であった。戦災を被り、現在の建物が完成したのは昭和26年である。歌舞伎は一年をとおして上演され、文字通り梨園の総本山。

銀座4-12-15

⓱ 新橋演舞場

昭和57年新装。舞踏、歌舞伎、新派、松竹新喜劇などのほか、ミュージカルなども開催している。

銀座6-18-2

⓲ 松竹大谷図書館

演劇、映画、日本舞踏、演芸、テレビなどに関する台本、文献、写真、プログラム、ポスターなど約33万点を収蔵する専門図書館。約300年前の浄瑠璃本や「かぶきのさうし」などもある。

築地1-13-1

⓳ 中央卸売市場築地市場

大東京の台所、中央卸売市場は、昭和10年（1935）に日本橋から移転した。施設、取扱量とも日本一である。また、周辺には「場外」とよばれる、一般の人を相手にした小売店や飲食店街があり、新鮮なものを安く手に入れられる。

築地5-2-1

copyright © 2004 Chuo City Tourism Association. All rights reserved.
掲載の記事･写真の無断掲載を禁じます。全ての内容は日本の著作権並びに国際条約により保護されています。